行政改革推進プラン取組項目　進行管理台帳

大 項 目	（3） 簡素で効率的・効果的な行財政運営	61			再掲	
中 項 目	オ 定員及び給与の見直し	151				
項 目 名	時間外勤務の縮減	達成度	△	所 管 課	総務局 給与課 全庁	
取組内容	各局長を責任者とした新たな時間外勤務縮減対策を策定し、事務事業の見直しや応援体制の推進等により、時間外勤務を縮減します。					
目 標	職員全体の時間外勤務手当額の削減	現 状 （H21年度）	3,471百万円	目 標 （H25年度）	H21年度決算比 290百万円削減	

工程表

項目		H22	H23	H24	H25	H26
時間外勤務の縮減対策の実施		実施	継続実施	継続実施	継続実施	
新たな時間外勤務の縮減対策の実施	新規					実施

具体的取組み結果

平成22年度	時間外勤務を縮減するため、全庁的な取り組みのほか、各局長等を実施責任者として各局等の実情に応じた縮減対策を定めた「仕事ダイエット2010」を策定し、各種対策に取り組み時間外勤務を抑制してきました。しかし、東日本大震災、鳥インフルエンザなどの突発的な災害対応等により、「1人1月1時間減らす」目標は達成できませんでした。	数値目標 進捗状況	H21年度比 67百万円削減
平成23年度	職員の意識調査や分析を行うとともに、「仕事ダイエット2010」に基づき、各種対策に取り組んだ結果、東日本大震災の復旧対応等の時間外勤務増加要素があったものの、「1人1月1時間減らす」目標を達成しました。	数値目標 進捗状況	H21年度比 259百万円削減
平成24年度	職員の意識調査等に基づき、全職員で取り組む重点項目を定めるとともに、「仕事ダイエット2010」に基づき、各種対策に取り組み、時間外勤務を抑制してきました。しかし、衆議院の解散総選挙や県知事選挙などの時間外勤務増加要素があったことにより、H21年度と比較すると減少してはいるものの、前年度と比べて微増となりました。	数値目標 進捗状況	H21年度比 242百万円削減
平成25年度	前年度に引き続き、全職員で取り組む重点項目を定めるとともに、「仕事ダイエット2010」に基づく各種対策に取り組み、時間外勤務を抑制してきました。しかし、家庭ごみ手数料徴収制度導入や救急出動の増、風水害対応などの時間外勤務増加要素があったことにより、H21年度と比較すると減少してはいるものの、前年度に比べて時間外勤務手当決算額は微増となりました。 H22年度以降、時間外勤務縮減の取組はもとより様々な業務効率化を全庁的に推進してきましたが、人員の削減を進めつつ、突発的事態や新たな行政課題への対応を行ってきた結果、削減目標を達成することはできませんでした。	数値目標 進捗状況	H21年度比 206百万円削減
平成26年度	新たな時間外勤務等縮減対策「新・仕事ダイエット」を策定し、従来の取組のほか、職員の意識改革の取組の強化や、完全消灯日の設定、休暇の取得促進など新しい取組を実施し、時間外勤務を抑制してきました。しかし、給与改定による影響や、月60時間超の長時間勤務を行った職員の増加などの要因により、前年度に比べて時間外勤務手当決算額は微増となりました。	数値目標 進捗状況	－